

# せんがくず新聞

リコー  
DesignCenter



編集・制作:梅澤朝樹  
発行日:2008年5月18日  
第30号

<http://umeasaki.com/sengakus/>



## 16-5 勝利!! ライバル日立に初勝利!!



写真は空振りだが、絶好調だった小野田



1イニングに2打席連続デッドボールを受ける山口



終盤2安打の堀口

試合前に2時間の合同練習が始まった。レベルの高い練習にも、小野田はついて行った。この日セカンドに入った小野田は、初のポジションとは思えない柔軟な動きを見せていた。内野手として、今後の活躍が期待されるだろう。

試合は初回から動いた。相手投手は昨年の合同合宿でも登板した若手投手。コントロールが定まらず、連続フォアボールで先制点を挙げる。

しかし、せんがくずはこの日も守備で崩れてしまう。先頭打者がエラーで出塁。続く打者には二塁打を打たれ、早々と同点とされると、エラーがらみで3点を失ってしまう。

悪い雰囲気打ち破ったのが小野田であった。2回の先頭打者であった小野田が放った打球は痛烈なレフト前ヒット。これがビックイニングの始まりであった。

### 練習から絶好調! 小野田2安打の大活躍!

日立	リコー
3	1
0	11
0	1
0	0
0	3
0	0
5	16

### 中盤デッドボールの嵐! 流れはせんがくずへ!

続く山口はデッドボール。その後の佐々木はフォアボールと、なんとこのイニングだけで十一個の四死球。ヒットは小野田の1本のみで大量得点を挙げた。相手投手は本来のエースに交代したが、2回だけで十一得点。デッドボールはこの回だけで4つ。山口は2打席回ってきたが、両打席ともデッドボールと、この日は当たり日だった。

この日のせんがくずの守備は、2回以降安定していた。大量得点の後は3人できっちりとおさえた。3回にはこの日4番にすわった畠山のタイムリーで1点と、流れを止めなかった。

	打数	安打	打点	盗塁	本塁打
(三)堀口	3	2	2	0	0
(五)遠山	3	0	1	0	0
(一)梅澤	4	1	0	0	0
(八)畠山	2	2	2	0	0
(六)矢野	2	1	2	0	0
(九)奥田	3	1	3	0	0
(四)小野田	3	2	2	1	1
(七)山口	2	0	1	1	0
(DH)佐々木	2	0	0	0	0
(二)比留間	2	0	1	0	0

### 堀口、終盤に2安打! 相手打線をおさえ勝利!

その後もせんがくずの流れは止まらない。5回には、打線が爆発する。

この日1番に入った先頭打者の堀口がライト前ヒットで出塁。続く2番遠山、3番梅澤が凡退し、ツーアウトとなるが4番畠山がまたもやレフト前ヒット。矢野が内野安打で出塁。ここで奥田が左中間をまつぶたつに割るタイムリーツーベースを放つ。

さらに小野田がこの日2本目となるヒットで追加点を挙げ、終盤で3点のため押し得点を挙げた。

その裏の守りでも相手打線を3人であっさりとおさえる。この日のせんがくずは打線で得た流れを止めず、守備で崩れる事がなかった。

堀口は最終回でもヒットを放ち、1番としての頭角を現す。最終回の相手打線もおさえ、せんがくずはライバル日立に初勝利した。

	三振	安打	四死球	自責点
(投)梅澤	5	5	5	3